

教職員の不祥事防止に向けた 新たな研修プログラム

第11回 事例研究 交通事故・交通違反

岡山県教育委員会

事例を確認しましょう

その日は、雨が降っていた。研究授業の準備と連日の生徒指導が重なって、A教諭は疲れ気味だった。さらに、昨夜は中学生の息子が反抗的で、つかつかとなって叱ってしまい、後味の悪さが残っていた。それでも①「雨だから渋滞するかもしれないと考え、いつもよりも10分早く車に乗り、スピードを控えめに通勤路を走り出した。



②道路は暗く視界も狭かったが、スピードを落としていたので、路上はよく見えた。すると、左側のわき道から急に自転車が飛び出してきた。A教諭は、瞬時に対向車に気を付けながらハンドルを切って自転車を避け、ブレーキを踏んで停車した。③衝突はしなかったが、自転車の高校生も驚いて急ハンドルを切ったため、転倒してしまった。

④A教諭は、少し先の安全な所に車を止めて現場に戻り、高校生が自転車を起こすのを手伝った。「大丈夫？」「大丈夫です。そもそもぶつかってないし…」「でも手を擦りむいている。病院に行かないと」A教諭には、「衝突していない」という確信はあったが、やはり警察を呼ぶことにした。高校生は面倒くさがったが、「大事なことから」と説得し、一緒に警察を待った。

現場検証が始まり、二人とも「ぶつかっていない」と話したが、警察官から「ぶつかってなくても、車に驚いて自転車が転倒しているので交通事故になります。」と言われた。

A教諭は校長に電話で報告し、遅刻を謝罪して、代理の対応をお願いした。事情を聴き終えた校長は、最後に「先生、大変だったけど、とても適切な対応でしたね。」とA教諭をねぎらった。

岡山県教育委員会

問題となるのはどんなことでしょうか（ポイント整理）

場面①

場面②

どういう要素（異なる行動や対応、状況や事態の変化等）が加わると不祥事につながるのでしょうか？



場面③

場面④

①～④の場面ごとに考えてみましょう！

岡山県教育委員会

どうしてこのような問題が起こるのでしょうか（発生のメカニズム）

場面①

場面②



場面④

①, ②, ④の場面について考えてみましょう！

岡山県教育委員会

どのように対処したらよいのでしょうか（対処法）

	場面①	場面②	場面④
	《自覚の向上》 	《自覚の向上》 	《自覚の向上》 
1次予防	未然防止に向けて何ができるか、考えてみましょう！		
	《環境の整備》	《環境の整備》	《環境の整備》
2次予防	変化の兆候に気付き、早期に対処するため、何ができるか、考えてみましょう！		
	《個別的な関わり》	《個別的な関わり》	《個別的な関わり》
	《組織的な関わり》	《組織的な関わり》	《組織的な関わり》
3次予防			

岡山県教育委員会

交通事故・交通違反等の概況

運転免許保有者数

H28年 **8,220万5,911人** → 国民の約 **74.7%** が保有
(参考・引用)「平成29年警察白書 統計資料」(警察庁)

交通違反取り締まり件数

H28年 **676万6,663件** → 免許保有者の約 **8%** に相当
(参考・引用)「平成29年警察白書 統計資料」(警察庁)

交通事故・違反により懲戒処分を受けた教職員数

H28年度 全国で **266人** → 免職は **32人**
 (63人は飲酒運転関係) (29人は飲酒運転関係)
(参考・引用)「平成28年度公立学校教職員の人事行政状況調査」(平成29年12月 文部科学省)

岡山県教育委員会

**毎日の生活を振り返って、
人を死なせたり、
傷付けたりする場面を、
あなたは想像できますか？**

岡山県教育委員会

それは交通事故です！

一瞬にして車が「凶器」と化し、人の命を奪ってしまう

岡山県教育委員会

運転中のイライラ、ありませんか？

乱暴な運転に…

車間距離が近い

あおってくる

追い越される

ウインカー
を出さない

一旦停止しない

違反行為を見て…

ゆっくり走る

クラクション
を鳴らされる

割り込まれる

ブレーキを
頻繁に踏む

慎重すぎる運転でも…

車を運転すると性格が変わる…

歩行者を怒鳴りつける
相手の運転に文句を言う等

- 車内の匿名性 = 感情が表面に出やすくなり、行為がエスカレートしやすい
- 物理的に車より小さい存在（歩行者・自転車など）を軽視しがち

岡山県教育委員会

イライラ
した時は

カウントアップ呼吸

「1・2・3・4」と数えながら
鼻から息を吸い、5で息を止め
て「6・7・8・9・10」で口か
ら息を静かに吐いていく。
カウントアップをしながら、深
呼吸をする。



岡山県教育委員会



時間のゆとりをもって

出勤時の交通事故が多いことから

次のことを心がけてみましょう

- あと5分早く家を出る
- 雨の日は少し早く家を出る
- 出張等で初めて通る道の時は少し早く家を出る

岡山県教育委員会

贖いの日々

財団法人東京交通安全協会刊行

岡山県教育委員会

ぶつかってもいないのに交通事故??

停車中の車が突然バック

→車の後方を横断中の歩行者が驚いて転倒し死亡

判決
車の過失
を認定

判決
車の過失
を認定

補助席に人を乗せた自転車の横を至近距離で車が追い越し

→自転車が転倒して補助席に乗っていた人が死亡

駐車場に入ろうとした乗用車が左折

→併走していたバイクの運転手が追突を避けるため転倒しケガ

判決
車の過失
85%

これらは **驚愕事故（非接触事故）** とされ、
当たってなくても、過失があれば、**刑事罰**や**損害賠償責任**を問われます！

交通事故を起こした時は、

- ・運転の停止
- ・道路上の危険の除去（二次被害防止）
- ・勤務先や保険会社への連絡
- ・負傷者の救護、救急車の手配
- ・警察への通報



岡山県教育委員会

防衛運転を心がけましょう！

危険を予測し、自ら安全な状況になるように運転していくのが防衛運転です。

自分が事故を**起こさない**だけでなく、他人の事故にも**巻き込まれない**ようになるのです。

- もし前の車が急停車したら → **車間距離を十分取っておく**
- もし人が飛び出して来たら → **一時停止を確実に**行う
- もし自転車が倒れてきたら → **脇を走行するときは、間隔を十分取る**
- もし後続車が考え事をしていたら → **予備制動（ブレーキランプの点滅）を心がける**
- もし高齢者がふらついたら → **スピードを落とす、徐行する**
- もし暗い夜道を人が歩いていたら → **ハイビームを原則とする**

岡山県教育委員会

どのような責任を負うことになるか

1次予防 (未然防止)

懲戒処分

- **交通事故**
 - ・免職・停職・減給 (重大な過失 + 死亡又は重大な傷害)
 - ・停職・減給・戒告 (重大な過失 + 傷害)
- **交通違反**
 - ・停職・減給・戒告 (悪質な交通法規違反)

逮捕され、懲役若しくは禁錮又は罰金

(状況による。)

- **過失運転致死傷罪**
7年以下の懲役若しくは禁錮又は100万円以下の罰金
- **危険運転致死傷罪** (運転困難な状態で運転)
死亡：1年以上の有期懲役 (最長20年)
負傷：15年以下の懲役



自転車による交通死傷事故 重大な過失があれば、**重過失致死傷罪** (5年以下の懲役若しくは禁錮又は100万円以下の罰金)



信号を無視した自転車の男性が、横断歩道を歩いていた女性と衝突し死亡させた。→ **禁錮2年、執行猶予3年**

岡山県教育委員会

どのような責任を負うことになるか

1次予防 (未然防止)

30 km以上のスピード違反
酒気帯び運転 など悪質な違反

反則金制度は適用されません
刑罰 (懲役・罰金等) の対象で、**送検**され、**前科**も付きます！



9,521万円
の賠償命令

小学生の男児が坂道スピードを出して走行、女性と正面衝突、女性が意識不明に…

→ 裁判所は男児の**母親**に損害賠償を命令！

行政処分

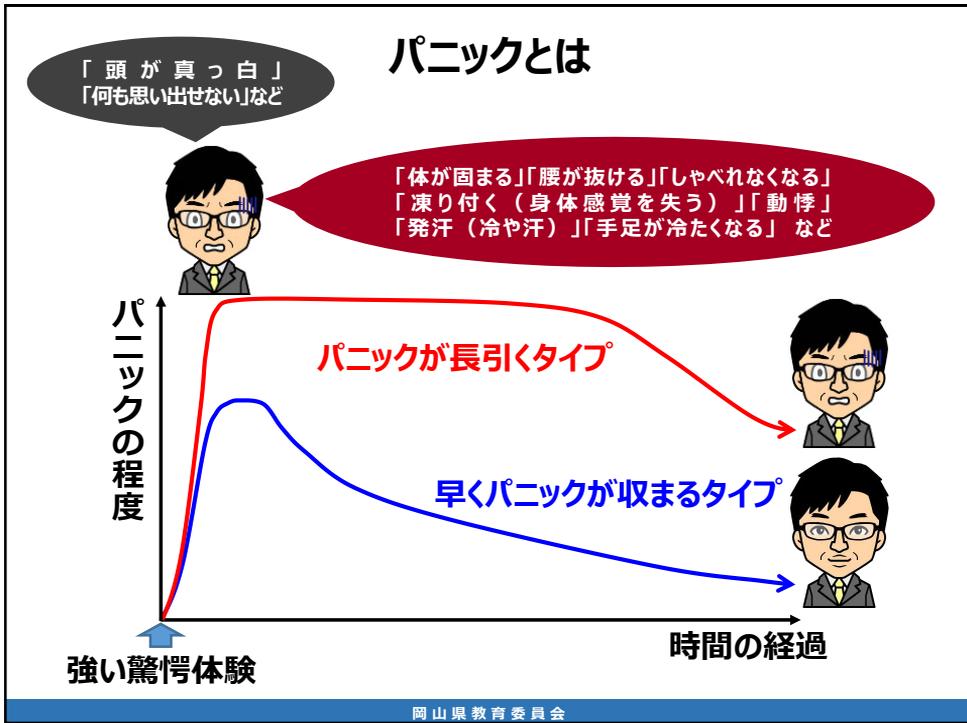
- **反則金**
軽微な交通違反に適用
- **免許停止、免許取消処分**
違反点数の累計による



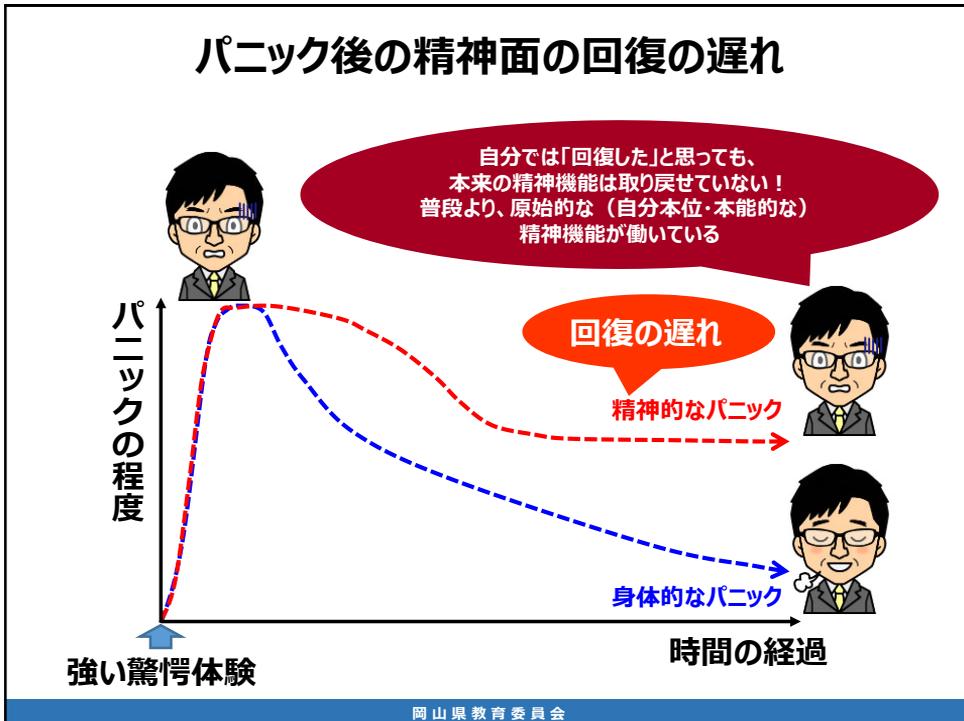
被害者への損害賠償責任

自賠責保険の支払い限度額 **4,000万円**
(不足は任意保険等で対応)

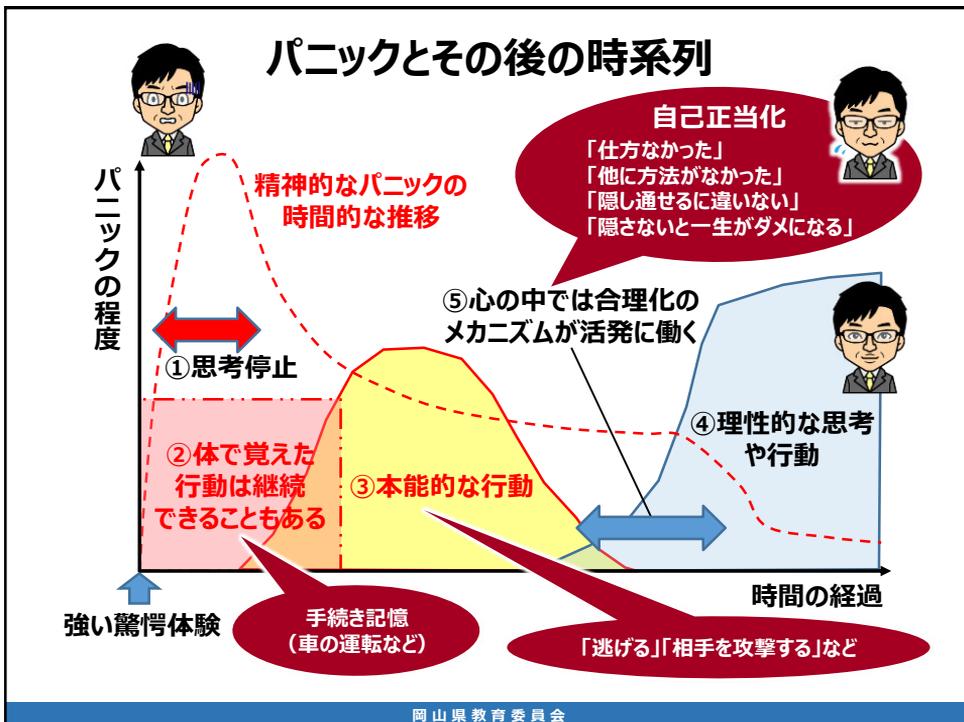
岡山県教育委員会

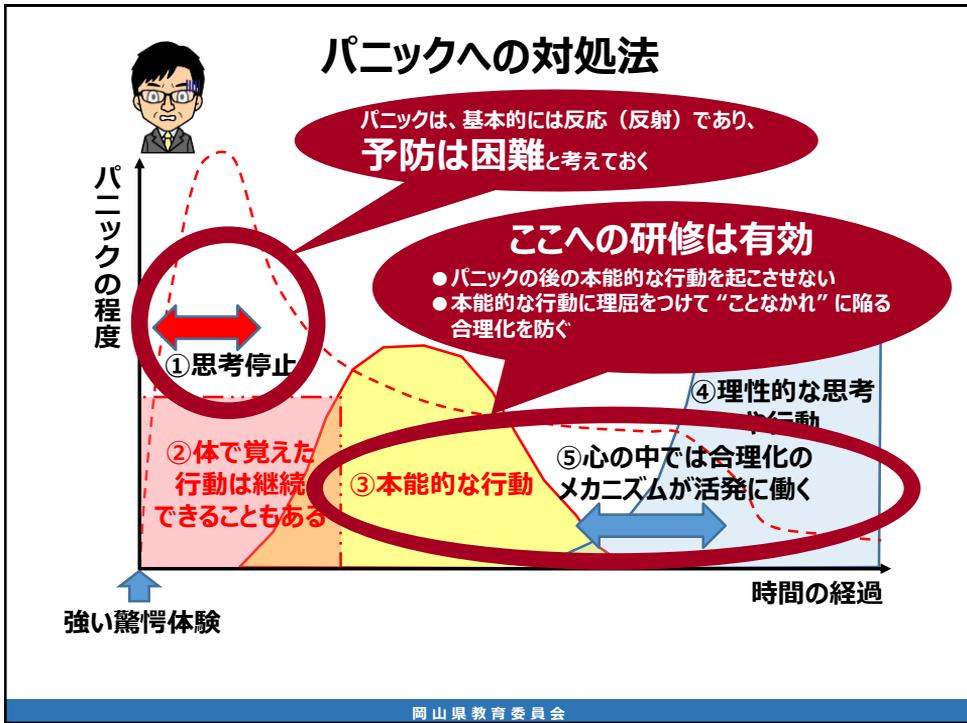


パニック後の精神面の回復の遅れ



パニックとその後の時系列





もし交通事故を起こしてパニックになったら…



- ① とりあえず、最大のパニックが過ぎるのを待つ
- ② 動悸や手足の震えが収まるなど身体が回復してきたら電話（119番,110番,上司等）をかける

パニックなのによく電話をくれたね。落ち着いて行動しよう。

事故を起こしました。パニックになっています…

こうやって電話しながら、一緒にできることを考えよう。

- ③ 穏やかな口調で対応し、急ぎ立てない、パニックになったことを責めない、命令しない



上司・同僚

岡山県教育委員会

携帯しましょう！「交通事故対応カード」

もし交通事故を起こしてしまったら…

教職員の皆さんは、速やかに次の対応を取ってください。

- 車を安全な場所に停車
- 負傷者の救護（救急車を呼ぶ） 119番
- 事故現場の保存と二次被害の防止 110番
- 警察に連絡
- 相手の住所、氏名、生年月日、電話番号、勤務先の確認
- 負傷者の搬送先病院名、負傷部位、程度の把握
- 勤務先・管理職に連絡
- 目撃者の確認
- 保険会社に連絡

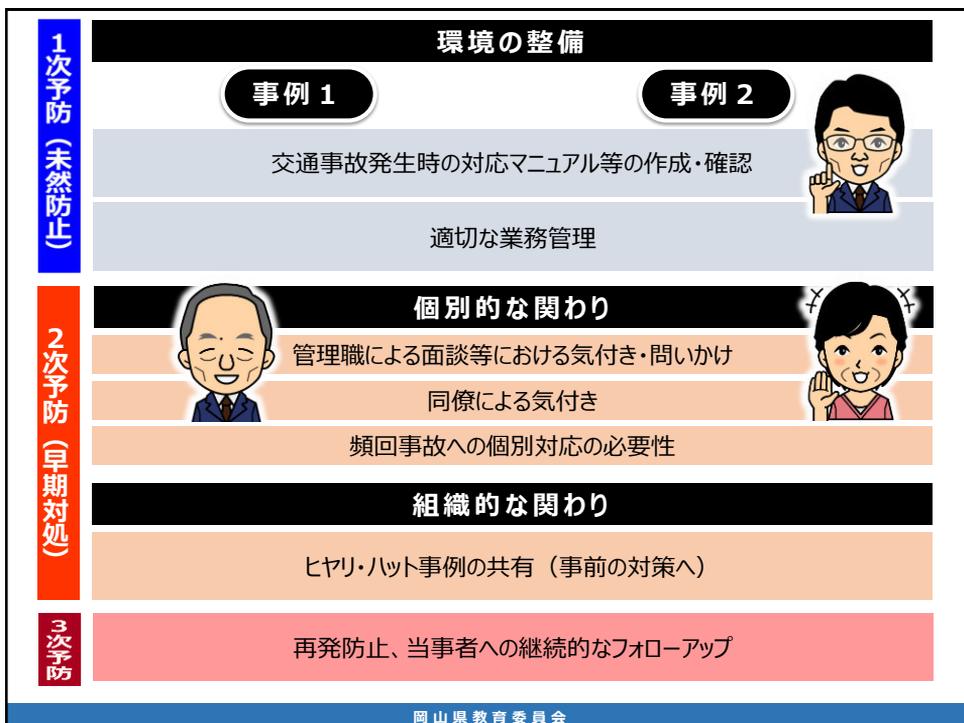
財布に入れておく

車内に入れておく

いざという時、あなたを守ることになります



岡山県教育委員会



グループで話し合ってみましょう

①交通事故の経験談やヒヤリ・ハット事例の共有 ②気を付けていること

私も考え事を
していて、気が
ついたら前の車
に追突しそうに
なったことがあ
ったわ…

雨の日に歩行者とすれ違ったとき、傘が車に
当たって、警察に連絡を入れました

信頼できる人に
連絡したのが
正解だったわね

雨の日は
みんな急い
でるから気を付
けないとね

寝不足の
せいか、ぼー
っとしてて、
気がついたら
もうこんな
所まで走っ
てたってこと
が…

雨の日にマンホール
の上でバイクがスリップして
転倒したことがあったよ

初めて事故したときは、
どうしたらいいかわからなくて家族
に電話して来てもらいました…

岡山県教育委員会

本日の研修のまとめ

4 研修の振り返り

◇今後に向けて

*** 作成協力 ***

岡山県教職員不祥事防止対策チームアドバイザー

塚本 千秋（岡山大学大学院教育学研究科 教授）

平 伸二（福山大学人間文化学部 学部長・教授）



1 問題となるのはどんなことでしょうか。(ポイント整理)

場面①	場面②	場面③	場面④

2 どうしてこのような問題が起こるのでしょうか。(発生のメカニズム)

場面①	場面②	場面④
() 型 • •	() 型 • •	() 型 • • () 型 • • () 型 • •

3 どのように対処したらよいのでしょうか。(対処法)

1 次 予 防	《自覚の向上》	《自覚の向上》	《自覚の向上》
	《環境の整備》	《環境の整備》	《環境の整備》
2 次 予 防	《個別的な関わり》	《個別的な関わり》	《個別的な関わり》
	《組織的な関わり》	《組織的な関わり》	《組織的な関わり》
3 次 予 防			

4 研修の振り返り

氏名 ()